



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

2023
No.144

らいちょう



飛び出す市役所

2022.9.25

“いきいき
健康広場”

in イオンモール大垣



目次

巻頭言	
強い組織とは	2
令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会 第2回部局長会議 議事録(要約)	3
令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会 第4回理事会議事録(要約)	4

各部・委員会からの報告	6
会員の声	14
賛助広告	17
賛助会員	23

強い組織とは

岐阜県理学療法士会

会長 村 雲 憲

みなさん、こんにちは。日頃は、岐阜県理学療法士会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、各職場でご苦労されていることと思います。みんなでワイワイ飲み会で盛り上げられるのは、一体いつになるのでしょうか？

さて、今回は、組織について考えてみたいと思います。組織には、大きなものから、小さなものまで存在しています。二人以上が共通の目的をもって集まれば、それはもう組織として成り立つのだそうです。そして誰もが、何かの組織に必ず所属しています。病院という組織、リハビリテーション科という組織、草野球のチームという組織から自治会組織まで種類も規模も様々です。

組織力という言葉もよく耳にします。個々の能力では、劣っていても、組織全体として力を発揮すれば相手に勝ることができる。組織を強くしていくためには、どうしたら良いのでしょうか？

アメリカの経済学者チェスター・バーナードは、組織には以下の三つの要素が欠かせないと提唱しています。その三つとは、「共通目的」「協働意志」「意思疎通」です。

一つ目の共通目的は、組織がまとまるための目標となります。明確な目標の存在は、組織内メンバーが皆、同じ方向を向くために非常に重要です。二つ目の協働意志は、別の言葉で貢献意欲とも言われます。組織のために役に立ちたい、貢献したいという気持ちが協働意志といわれます。この協働意志がしっかりと機能するためには、先に挙げた共通目的をメンバーがしっかりと把握し理解していることが重要です。また、貢献に対し、それに見合ったリターンがあることも組織内の信頼関係に必要なと言われています。そして三つ目は、意思疎通です。メンバー間、または、メンバーとリーダーの間でコミュニケーションがしっかりととれていることが、やはり組織がまとまるためにとても重要です。

では、岐阜県理学療法士会という組織をこの三つの要素を基に考えてみたいと思います。

当士会の共通目的をご存じでしょうか？定款の目的の項には、「この法人は、理学療法士の人格、倫理及び学術技能を研鑽し、理学療法の普及向上を図るとともに県民医療・保健及び社会福祉の発展に寄与することを目的とする」とあります。生涯学習システムや各種の研修会の開催などによって、会員の知識や治療技術のレベルアップを図る。地域の健康フェスタやイベントなどで理学療法の啓発を図る。様々な依頼に応えて、理学療法士を派遣し、地域の皆様の医療や福祉の面で貢献を図る。これら共通の目的を今一度再確認していただきたいと思います。先の理事会でも、これらの目的を達成していくために、今後の士会の重点事業として、会員の満足度向上と地域貢献を掲げました。どうしたら、会員の方々の県士会に所属していて良かったという思いに繋がられるのか？どうしたら地域の皆様に理学療法を通じて喜んでいただける活動ができるのか？理事会はもちろん、各部局が知恵を絞っています。

二つ目の協働意志はどうでしょうか？共通目的に対して、理学療法士としての研鑽を図るために、様々な学会や研修会を企画、開催をしています。協会の生涯学習システムも新システムとなり、卒後教育に力を入れています。また、地域や行政からの要請に対して、講師として会員を派遣する事業も盛んに行われています。スポーツイベントや各種団体からのサポート依頼も多くなりました。皆さんは、このような協会や県士会の事業、活動に参加してみよう、携わってみようという協働意志（貢献意欲）をお持ちでしょうか？県士会では、研修会を無料で、あるいは出来るだけ低料金で実施しています。また士会活動に協力していただける会員の皆さんには、講師料や日当の支給など、出来る限り目に見えるリターンを模索しています。ただ、私たち理学療法士ひとりひとりが協会、県士会に会員として所属すること自体が組織の声を大きくすることに繋がり、その声は国政に影響し、私たちの職域拡大や職場環境、処遇などの改善に反映される、このような目に見えにくいリターンがあることも理解していただきたいと思います。

最後の三つ目は、意思疎通です。私は、なんだかんだ言っても、これが1番大事ではないかと思ひますし、今までも重要視して活動してきました。理事会、各部局の風通しを良くし、何でも言い合える執行部を目指しています。部局長や担当理事との話し合いや打ち合わせ会議の場も多くとってきました。役員間のコミュニケーションには、自信を持っていますが、こうした執行部の考えや情報は、皆さんにちゃんと届いているでしょうか？また、皆さんの声を十分聴けているでしょうか？役員間、役員と会員間、そして会員間の声の繋がりが私たちの組織を更に強くしていくのだと思ひます。

今年は、会員の皆さんにダイレクトに情報を伝えるツールとして、県士会公式アプリの立ち上げを準備しています。また、会員の皆さんと直接話ができる場としてオンラインで「会長と話そう」という催しも企画中です。岐阜県理学療法士会が強くまとまりのある組織として地域の皆様に認知していただくためには、会員の皆さんの理解と協力が不可欠です。少しでも皆さんに興味を持っていただけるよう努めてまいりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

最後まで、お読みいただき、ありがとうございました。



令和4年度 (公社)岐阜県理学療法士会 第2回 部局長会議 議事録(要約)

日時：令和4年11月13日(日)10時より

場所：平成医療短期大学・Web ハイブリッド開催

出席：村雲憲、河合克尚、田中利典、小野晶代、田島嘉人、岸本泰樹、三川浩太郎、久保田将成、大場かおり、笠野由布子、澤村彰吾、児島良典、田畑亜実、伊藤康行、三浦大介、矢代真也、寺倉篤司、小鳥川彰浩、上野浩季、鵜飼浩史、馬場隆幸、今津統紀子、小林弘明、曾我哲之、千邑彰人、戸部一隆、古田裕之、岡山好男、留田隆志、藤本佳希、伊藤友紀、吉井秀仁

欠席：舟木一夫、岩島隆、臼井美由紀、小久保晃、名和敏晃、住若克弥、富田純也、熊崎康将

内容

会長挨拶：村雲

前回の参議院選挙では皆様のご協力を頂きましてありがとうございました。結果は残念でしたが、岐阜県では会員数を上回る数を獲得できました。小川先生からも感謝の意を伝えて頂きました。県士会としては、求められるものも多様化してきていると思ひます。何に力をいれて行っていくのか、または事業縮小等も踏まえ今後の方向性を決めていく時期だと思ひます。事業の見直しを行い、二-

ズに合った事業を行っていきたくと思ひます。

議題1：令和5年度事業・予算計画案

吉井：事業報告の提出が少なくなったので事業報告の提出をお願い致します。各事業にどのくらいの参加者がいるのかを把握したいので後日案内しますのでご提出をお願いします。

大場：各部局の予算計画を合わせると、約350万円の赤字になります。法人として余力はありますが、会議の予定回数の削減や消耗品の削減の見直しをお願い致します。収入も増えていますので、収支のバランスが今後大切だと思ひます。

議題2：令和4年度事業・予算執行状況について

研修部：笠野

今年度は講師の都合により2月開催になりました。公開講座も同様に2月に開催します。

生涯学習部：三川

今年度の研修会は予定通り予算内で執行予定です。次年度も同様の予定です。

教育部：澤村

症例検討会は2月開催です。次年度は前期研修を2回にして、研修会を3つ開催予定です。

学術出版部：田畑

今年度は1月発刊予定です。発行部数を1700冊から600冊に変更になりました。

PT講習会部：児島

今年度は10月29・30日に開催しました。次年度は9月中旬に予定しています。

学会運営部：三川

第32回学会は6月26日に終了しました。
第33回、第34回も準備に入っております。
第33回6月11日、第34回は6月19日に
開催予定です。また第35回は岐阜地区になり
大会長を探しています。

東海北陸学会：吉井

2024年9月7.8日じゅうろくプラザで開催
予定です。開催方法はハイブリット形式の予定
です。

こども福祉部：三浦

予定通り、こども福祉機器展を6月に開催
しました。小児、障がい児リハ研修は1月ま
たは2月に開催予定です。リハビリマップは
予定通り、来期冊子作成予定になります。

共催事業部：伊藤

例年通りグッズ作成しまして各事業部に郵送
しました。ボールペンとうちわは在庫がありま
す。

広報部：矢代

今年度も例年通り、年4回発刊します。電
子化の検討を理事会でお願い致します。

IT部：寺倉

モバイルアプリの開設に向け準備中です。

調査部：小鳥川

今期より電子化でアンケートを行いました。
例年では紙ベースで62%の回収率でしたが、
今期は大幅に下回ることになりそうです。また
アンケート結果をらいちょうに掲載します。

災害対策部：上野

JIMTEFの研修に1名オンラインで参加し
ました。

地域包括ケアシステム推進部（人材育成）：鵜飼

岐阜県補助金事業では今期は12月と1月に
開催予定です。また各市町村との対応ができる
ように各支部の担当者を選任中です。

地域包括ケアシステム推進部（渉外）：岸本

シルリハ指導士育成研修は11月23、24日
に開催予定です。またシルリハ事業として、輪
之内町、大垣市、飛騨市、八百津町、瑞浪市と
今期契約しました。

メディカルサポート部：児島

いびがわマラソンが本日開催になり、本日
10名対応しています。

地域職域連携推進部：田島

来期よりイオン土岐の事業が加わる予定で
す。

中濃支部：曾我

今期はリハビリフェアを7月10日に開催し
ました。参加者20名でうちわ等を配布しまし
た。

東濃支部：千邑

健幸フェスタは例年6月開催を変更して10
月に開催しました。

西濃支部：戸部

来期の理学療法フェアでは会場をアクア
ウォークからイオン大垣に変更して行えないか
を検討しています。

議題3：経理規定の改正ならびに、経理方法の変更
について

大場：経理規定ですが、8月の県監査で経理規
定の内容が現状と違うため、内容を
一部改正することになりました。

議題4：その他

各支部における症例検討会の開催について

澤村：支部が主催して頂き、教育部がサポート
していく予定です。県外の方が年1回の
症例検討会に参加され、県内の方が参加で
きない状況です。

吉井：どこが主催になるのか、運営方法等を検
討する。

令和4年度 (公社) 岐阜県理学療法士会 第4回 理事会 議事録 (要約)

日時：令和4年11月13日（日）13時00分より

場所：平成医療短期大学・Web ハイブリッド開催

出席：村雲憲、舟木一夫、河合克尚、田中利典、小
野晶代、田島嘉人、岩島隆、岸本泰樹、臼井
美由紀、三川浩太郎、久保田将成、棚橋一憲、
大場かおり、伊藤友紀、吉井秀仁

欠席：有田志保美

議題 1：会長及び常任理事報告

議題 2：新入会員の承認→ 24 名承認

議題 3：公益監査結果報告

吉井：書面での指摘事項では公益目的会計に会計事務所への委託費及び選挙管理システムの使用料が記載されていました。次年度より是正予定。経理規定に関しては臨時理事会にて改定しました。

議題 4：総会資料の配布について

吉井：県監査時に確認を取ったところ、1人1冊郵送する必要は定款に記載されていないとの事です。

今後、委任状と案内のみ郵送。冊子は来場者に配布用を準備かどうか

→ 承認 来季より電子媒体で総会資料を掲載。案内状と委任状は今まで通り郵送総会資料に関しては郵送しない

議題 5：令和 4 年度予算計画案

前回の理事会で承認された予算案を基に会計事務所に公益 3 大基準を試算してもらった結果、全て基準を満たしている →承認

議題 6：追加予算申請（東海北陸理学療法学会運営部）

今年度より準備委員会を発足。 →承認

議題 7：令和 5 年度士会重点事業について

村雲：①会員の入会促進・退会抑制 ②地域貢献 の 2 点をバランスよく取り組んでいきたい。

議題 8：令和 4 年度補正、令和 5 年度事業・予算計画案

大場：令和 4 年度補正予算とともに令和 5 年度予算案も大幅な赤字になっております。再度各事業部に見直しを依頼したいと思います。

吉井：各事業部に今年度事業の参加者等の提出のお願いも行い、事業の見直しも行っていくしたいと思います。

→ 各事業部に再度予算提出をお願いし、2 月の理事会にて再度審議予定

議題 9：謝金規定・旅費規程の見直しについて

大場：謝金に支払い基準に関する規定や謝金金額、旅費についても協会の規定を参考にしました。また交通費についても詳細な規定がないので講師料支払い規定とともに一覧

でまとめました。

→ 旅費の算出方法も協会に準じた方法で行う。旅費規程等を見直し、理事会審議後、R5 年度施行を目指す。

議題 10：士会アプリ導入進捗状況報告・今後の対応

久保田：アプリ開発において 3 社の見積もりの内、サイエンスネットが一番柔軟性も高く、コストに置いて良かったです。もう 1 社候補がありましたが、県士会の HP との連携が難しく断念しました。保守管理費に関して、サイエンスネットは他と比べて割高でしたが、他社ではエンジニアの作業時間に比例して金額が変わるようですが、サイエンスネットで決めたいと思います。来年 4 月リリース予定です。

吉井：アプリのリリース後にらいちょうの紙ベースの発刊や F ネットの中止をするのであれば広告規定や賛助会員規定を見直す必要があります。

→ 2 月の理事会にてアプリ移行の方法を検討していく。

議題 11：各支部における症例検討会の開催について

吉井：部局長会議で教育部から提案がありました件です。各支部に部員を立ててもらい、主催は教育部にお願いしようと思います。

小野：支部の症例検討会は県内の会員が主になる方法で行ってほしい。各支部で人員確保できるのかを確認します。

岩島：協会マイページからの申し込み設定で岐阜県士会限定も設定できます。

→ 症例検討会開催は承認。まずは県士会員優先で募集を行い、空きがあれば他士会員の参加も募集をする。

議題 12：広報誌「らいちょう」について

吉井：広報部より提案がありました件です。アプリ導入に伴い、らいちょうの配布を廃止。会員には HP に掲載してあるらいちょうを閲覧していただく。対外配布用のみ冊子にしてはどうかと提案を受けています。

→ 承認。R5 年度より順次執行する。

<各部・委員会からの報告>

厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058－276－7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品(カタログギフト)を贈る。
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会などの助成。
企画型) フットサル等 多人数で行う競技の助成
参加型) マラソン等 個人競技

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500－8288 岐阜県岐阜市中鶯2丁目99番地
TEL 058－276－7755 FAX 058－276－7733
介護老人保健施設 喜の里 名和 敏晃

会員の皆さまへ大切なお知らせです

平素より機関誌「らいちょう」にご協力いただきありがとうございます。

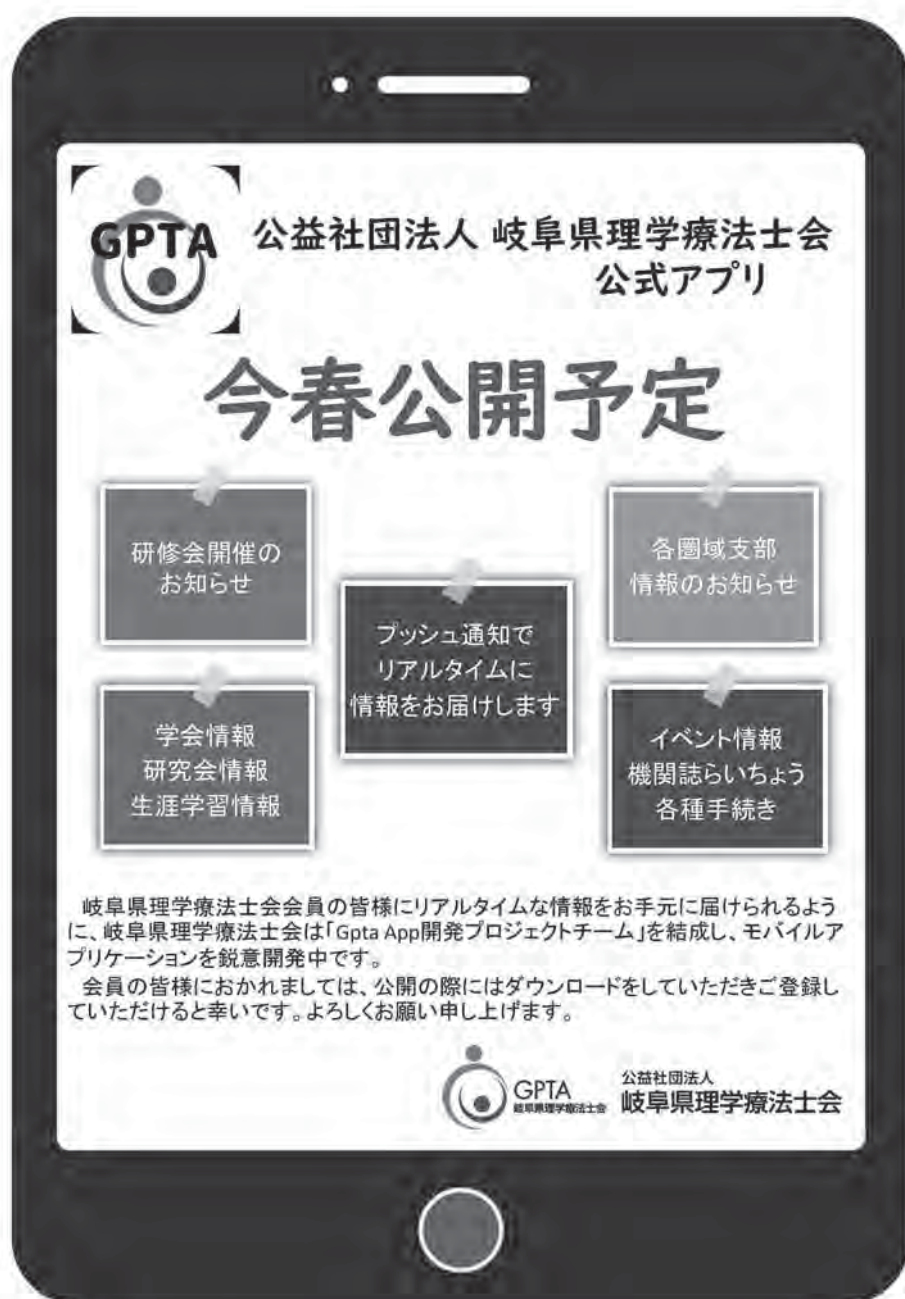
この度、第 145 号（5 月頃発刊予定）から電子化することとなりました。

今日まで長きにわたり「らいちょう」の作成にご協力いただきました（有）いすくら村瀬様に、この場を借りてお礼を申し上げます。

これからの「らいちょう」は県士会ホームページ及び、現在開発中のアプリで閲覧できるように進めております。

今後も県士会活動にご協力をお願いいたします。

IT 部 寺倉 篤司 広報部 矢代 真也



支部局の紹介

岐阜県士会には県内を5つに分け圏域毎に支部が存在します。各支部では、地域住民の皆さんを対象としたイベントや会員に対する研修会開催等さまざまな活動を行っています。新型コロナウイルスの影響でしばらく中止となっていたイベントが、本年度は感染対策を講じた上で少しずつ開催され始めましたので、各支部の2022年度の活動等をご紹介します。

岐阜支部

支部長：小林 弘明

各務原市・岐阜市・岐南町の依頼受け、それぞれの自治体で開催される健康まつりで体験ブースや体力測定・ロコモチェック等を実施しております。ロコモチェック後にはその評価結果とともに自宅でできる運動を指導し、フレイル・ロコモティブシンドロームの予防の一助を行ったり、理学療法士の日には、理学療法士を知ってもらうために、イオンモール各務原などで啓発活動しております。

どなたでも参加いただけるように、事前に内容の打ち合わせを実施しておりますので、興味のある方は是非参加して頂きたいです。



支部長：戸部 一隆

西濃支部

6月5日、かがやきクラブ大垣という旧大垣市老人クラブが主催された、大垣市の中心市街地を約500人がウォーキングを行う「かがやき健康ウォーキング」に講師として参加しました。ウォーキングコースの大垣城ホールは立ち寄り必須の会場で、会場内には健康に関するパネルやスポーツ体験などを行っていました。

今後も地域に貢献した支部活動を継続したいと思います。

東濃支部

支部長：千邑 彰人

10月9日に恵那市まきがね公園体育館にて「健幸フェスタ in えな」が開催され、アンケートによるロコモ度チェックを実施し、個別での運動や生活相談を行いました。理学療法士ガイドのパンフレットなどを配布して啓蒙活動を行っています。

参加者は健康志向が高く、日常生活で出来る運動などに興味を持たれていました。また、PTを目指す高校生も来場し、仕事内容や学生生活の様子をお話しました。

10月15日には中津川市都市緑地公園にて「健康まちづくりDAY」に参加し、ウォーキングに関する対応の依頼で、ウォーキング前の準備運動、「AYUMI EYE」を用いた歩行評価をしました。

小学生～高齢者まで多くの方が参加し、「普段から歩き方の癖が気になっていた」「靴の踵の減り方が歩行評価してもらって納得できた」など歩行評価に対する良い評価をいただき事ができ、今後もやってほしいと多くのご意見をいただきました。

地域の皆様の健康に対する意識が高く、我々の活動の必要性を改めて実感することができました。



中濃支部

支部長：曾我 哲也

7月10日、関市のサンサンシティマーゴにてリハビリフェアを開催しました。約20名の方に参加して頂け、日本整形学会が推奨しているロコモ度テストの実施とロコモ判定、検査結果に応じた予防とリハビリについての相談、アドバイスを行いました。幅広い年齢の方が参加し、検査結果について熱心に聞かれ相談されている姿もありました。

JAめぐみの介護サービス様の福祉用具の展示・相談コーナーでは電動カートの体験や、福祉用具の説明がありました。パンフレット配布では季節柄、理学療法士会の名称が入ったうちわが80本ほど配布できました。短時間でしたが、地域の皆様の医療・介護・社会福祉の向上に少しでも寄与できる活動ができ、理学療法士・理学療法を知っていただく良い機会になったと考えています。



飛驒支部

支部長：古田 裕之

11月26日に飛驒高山ビックアリーナにて、岐阜県障害者スポーツ協会主催の「パラスポーツフェスタ」に参加しました。

本フェスタは“障害のある人も、ない人も一緒に楽しく体験できる”イベントとして今年度、第一回目が飛驒地域で開催されました。体験ブースには車椅子バスケットボール、ボッチャ、フライングディスク、ゴールボール、車椅子試乗体験、ブラインド体験、義足装着体験、運動能力測定があり、実際にパラスポーツの選手などと一緒に競技することができるブースもありました。

理学療法士は運動能力測定のブースにて、身長体重、BMI、握力測定、長座体前屈、垂直飛び、立ち幅跳び、開眼・閉眼立位などの測定を行い、また、参加者の方からの様々な質問もあり、あっという間の時間でした。

私達スタッフも空いた時間に様々なパラスポーツに触れ、色々な方々と話す機会があり大変学ぶことの多いイベントでした。

飛驒支部は広域ではありますが、理学療法の啓発活動の拡大、地域ネットワークの構築を進めていきたいと思っています。



令和4年度 シルバーリハビリ体操指導士 養成講座を終えて（大垣市）

大垣市では、令和2年度より、地域での住民主体の通いの場を企画運営できる人材育成を目的として、シルバーリハビリ体操指導士養成講座を開催しております。令和4年度までに55名の指導士が誕生し、コロナ禍においても地域で少しずつ活動を始められています。

私は、行政の事業担当者兼シルバーリハビリ体操指導士養成認定講師としてこの事業に関わりましたので、両者の立場からご報告させていただきます。

シルバーリハビリ体操とは、主に高齢者の介護予防を目的に、医師によって考案された体操で、全国の数多くの自治体で取り入れられています。地域での介護予防のリーダーとなれる人材を育成することで、「住民が住民を育てる」仕組みを構築し、介護予防活動の推進を図るものです。

この事業の魅力は、「体操そのものを覚えて、住民同士で指導できるようになること」の先に、「体操を通じて、地域住民が気軽に交流できる場所をつくること、それが地域づくりに繋がること」というところにあります。単に体操をすることが目的ではなく、人が交流する場所をつくる手段に体操があるということです。この事業を通じて、住民の皆さんが最期までいきいきと暮らせる地域づくりを目指したいとの思いで取り組んでおります。



今年度は、7月から9月までの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、中断を余儀なくされました。しかし、講師の先生方のご尽力の下、日程を変更して何とか全過程を終了することができました。



<行政の担当者として>この講座は、「10日間30時間」というなかなかハードな講座です。内容についても、体操の効果をより深く理解するため、解剖運動学などの専門的なことも学習していただきます。はじめのうちは、「こんなにたくさんのことを覚えられるだろうか…」と不安を口にされる方が多いですが、回数を重ねるごとに、積極的に質問をされたり、参加者同士の交流が増えたりと、どんどん良い雰囲気になっていくことがとても嬉しく思いました。

行政としては、養成講座が終了してからが頑張るところです。養成講座に参加される方々は、地域での役割をもってみえたり、既にボランティアとして活動されている方が多く、「地域の役に立ちたい」という熱意のある方が多く参加されています。長期化するコロナ禍で活動しづらい状況であり、指導士の組織化はまだまだ手探りで進めているところでは

ありますが、指導士さんの熱意を絶やさないような支援をしていきたいと思っております。

養成講座終了後の指導士のフォローアップや組織化について、不安を感じている行政の担当者は多いのではないかと感じております。指導士に対する専門職の継続的な支援ができれば、この事業を導入・継続できる自治体が増えるのではないかと思います。



＜認定講師として＞この講座では、時間内に、伝えるべき内容を正しく、分かり易く伝えることを心掛けました。グループワークでの意見の引き出し方やまとめ方など、まだまだ未熟な面は多いですが、参加者が安心して参加できるような雰囲気づくりの工夫を行い、より良い関わりができるよう研鑽を重ねてまいります。

今年度の認定講師養成講習会はコロナの影響で中止となってしまいましたが、またの機会に認定講師が増えることも楽しみにしています。

最後になりましたが、本事業にご協力いただきました講師の先生方に厚く御礼申し上げます。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

大垣市保健センター
理学療法士 藤田 奈美

飛び出す市役所「いきいき健康広場」 参加報告

令和4年9月25日イオンモール大垣で開催された「飛び出す市役所いきいき健康広場」のイベントにて健康体操の実演をする機会を頂きましたので報告させていただきます。

今回は地域住民を対象とした午前と午後の2部制でしたが、合わせて約100名という大勢の方に参加して頂けました。また、会場では大垣市の市長やイオンモールのマネジャーにも私たちと同じステージに並んで一緒に参加して頂きました。



健康体操としてはシルバーリハビリ体操と認知症予防のためのコグニサイズを実践させて頂きました。

特にシルバーリハビリ体操は「いつでも、どこでも、ひとりでも」行える体操で、立つ、座る、歩くなどの日常生活に必要な動作を維持または向上させるための体操で構成されており、岐阜県内でも徐々に広まりつつあります。



コロナ禍によるフレイルやMCIの加速がみられる反面、自らの健康や介護予防、認知症予防に関心があり実際に何か行動を起こしている方も増えていると感じます。

介護予防の体操であるシルバーリハビリ体操の普及を通じて、住民の皆様にフレイルや介護予防やリハビリテーションについて正しい知識を学び、学んだことを住民同士で教え合い実際に実践していく「自助互助」の考え方が重要となってきます。

イベント後は市長から「今後も理学療法士の皆様のお力で地域の高齢者を元気にして下さい。期待してます！」と嬉しいお言葉も頂きました。

理学療法士の役割として地域での活躍は今後も益々ニーズが高まると思います。まだまだ課題も多くありますが、地域の特性を活かしながら高齢者の暮らしをコーディネートし、私も地域で活躍する理学療法士の一人として日々精進していきます！



介護老人保健施設ラポール
理学療法士 若山 和貴



< 会 員 の 声 >

頂を高くするには裾野が 広くなくてはいけない

JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター
揖斐厚生病院

久保田 大 夢

私が理学療法士になってから早 10 年が経過しました。「会員の声」の依頼を頂戴し、折角の良い機会ですから、今までの理学療法士としての人生を振り返ってみることにしました。

大学を卒業し、西美濃厚生病院に入職した当時は、右も左も分からず新患の担当が決まれば、原疾患や既往歴について参考書や在学時代のノートを開き、必死に勉強したことを思い出します。臨床では、大学の恩師から教わった“患者に学ぶ”というスタンスを肝に銘じ、疑問を調べ臨床に還元するという循環を大切にしてきました。リハビリが奏功することで状態が上向きになる患者様を目の前にし、研鑽が実を結んだことを実感し、気持ちが高揚したことを覚えています。

学生時代から運動器領域に興味のあった私は、入職後もその領域の楽しさを感じていました。その一方で、他分野には一定の勉強はするものの中々深く興味を持てずにいました。そんな中、第 27 回岐阜県理学療法学会に参加した際、“頂を高くするには裾野が広くなくてはいけない”という大会長の言葉に感銘を受けました。スペシャリストを目指しつつも、ジェネラリストとしても見聞を広める。理学療法士が活躍できる可能性は、様々なジャンルに秘めており、更に頂を高めようとしつつも同時に裾野を広げる努力をしていきたいと感じました。

理学療法士が自施設内でリハビリのみを行う時代から、理学療法士がもつポテンシャルを活かすべく、院外での活動も活発になっていく時代が到来しているように感じています。“理学療法の可能性を最大限に増幅させることができるセラピストでありたい。”この文章をまとめながら、これからの理想の理学療法士について、そんな風に考えました。

さて話を戻しますと、昨年度の 10 月に辞令を受け揖斐厚生病院へと転勤し、2023 年 10 月には新

病院となる西濃厚生病院が開院を迎えます。この一年が目まぐるしくも、刺激の多い年になりそうで、ワクワクしています。今後の理学療法人生を、更に色鮮やかにできるよう、邁進していきたいと思います。

最後に、日常業務が多忙な折に岐阜県理学療法士会の運営にご尽力いただく全ての方々に感謝申し上げるとともに、当会の益々の発展を祈念し、文章を閉じさせていただきます。私の乱筆にお付き合いいただきありがとうございます。

仲 間 の 存 在

独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院
リハビリセンター

細 江 健 太

私は現在の職場に就職して 5 年になる。5 年間で理学療法についてや退院に向けて必要な事、患者様の年齢層やどんな疾患が多いか、病棟毎の仕組みの違いや経営状況など様々な事がわかり経験することができた。理学療法についての勉強や努力は私が思うに人並みにしており、平凡に仕事こなしている状況である。現在の状況や経験から将来の事を考えると概ねどんな理学療法士になっていくかが大体想像がつく。だが、就職前や入社 1 年目の思い描いていた理想とは違う。日々の業務を行いながら毎年なんらかの症例発表や研究発表を行い文章として残していくことを考えていた。大学時代に恩師から「頑張っ勉強し治療をするのは誰でもやっている当たり前のこと、全国の人から頑張っていると認められうには発表し残していくことが大切」と言われそうなりたいと思い、そしてそれが患者様のためにもなっていると感じ発表していこうと思うようになった。しかし、この 5 年で症例発表は 1 度しかできておらず理想とは程遠い状況である。現状維持でも問題なく仕事はでき患者様からは感謝されることの方が多い。1 日仕事を終え帰宅後はその日を振り返ったり文献を調べたりとできず、スマホで動画鑑賞し寝てしまいまた次の日出勤するという流れができてしまっている。その中で生活していると別に今のままでいいと思うことや変わることを恐れるこ

とが多々ある。なかなか誘惑に勝つことは難しいが、可能な限り机に向かい本を開き次の症例発表に向け準備しようと思えるのは仲間の存在が大きいと感じる。コロナ禍で機会は減ったが大学時代のゼミ仲間と集まり連絡を取りあうととても刺激を貰う。大学院に進学する者や、職場で新しく今までやって無かった検査や治療を始めたなど聞くと私も今のままではダメだと思う。また医療関係者以外でも夢や目標に向かう姿や話を聞くこともとても助けになっている。誘惑に負けそうになる時、話した内容やその人を思い浮かべることで私も負けずに頑張ろうというきっかけになり、一步を踏み出す力となっている。一人では心が折れそうなことも支えてくれる周りの存在があるからこそ頑張れると私は思う。

私は周りの仲間や先生にとっても恵まれています。そんな周りの人を大切に、逆に自分が周りの人の原動力となれるような存在になれる様に努力し、理想の自分へと変わっていきたいと思います。

後輩の成長を自分の成長のように 喜べるようになったこと

さとう整形外科

小 瀬 勝 也

私は理学療法士になり、今年で16年目となりました。これまで多くの先輩や同期、後輩の支えがあって、理学療法士として少しずつ成長してきたと思っています。今回、私が新人理学療法士の教育責任者となり、その役割を全うしていく中で得たことについて書いてみようと思います。

私は、14年目の春から当院に入職した新人理学療法士の教育責任者になりました。これまでも新人指導をしてきたことはありましたが、教育責任者として一から全ての指導に携わることは初めてでした。当院の新人教育は、まず業務の流れを理解し、患者さんとのコミュニケーション能力を高め、触診、評価、治療の順で理学療法技術を習得していきます。そのうえで患者さんを担当し、治療成績を出せる人材の育成を目的としています。私の役割は、そのナビゲートをすることです。

新人教育では、些細なことでも報連相を行うよう

に促し、コミュニケーションを多くとることを意識しました。それにより新人の人柄が分かってきますし、業務や理学療法技術の習得状況も把握できます。人柄が分かると、成長するためにどのようなサポートが必要か、どのような声掛けが適切かがみえてきます。寄り添うことを意識すると自然に信頼関係が生まれ、自分の考え方や熱意も伝わりやすくなると感じています。

実際に患者さんを担当する時期に入ると、OJTの形をとり、評価、治療を共同で行っていきます。そうすることで、理学療法技術の習得が進み、患者さんの病態を把握する力も向上していきます。習得の難易度が高い技術については、骨模型で説明したうえで、一緒に練習を行い、自主練習も行うようにして行きました。着実に力をつけていった結果、院長とリハビリテーション科の課長に認められ、晴れて理学療法士として独り立ちすることができました。現在では、リハビリテーション科の戦力として奮闘してくれています。

ここまでの道のりは決して平坦なものではなく、私自身も新人理学療法士も悩みながら試行錯誤しながら、進んできました。まさに二人三脚のようでした。だからこそ理学療法士として独り立ちできた時は、自分自身のことのよう喜べたのではないかと思います。元々、私は職人気質なタイプであり、理学療法士として自己成長を第一に考えてきました。今回、教育責任者の役割を全うしていく中で、他者成長を自己成長と同じように喜べる自分になったことは大きな経験であり、これから多くの後輩を育てていくうえで財産になると思っています。

これまでの振り返りこれからのこと

カワムラヤスオメディカルソサエティ
河村病院

直 井 佑 生

今、私が勤務している病院は急性期、回復期、維持期と幅広く携わることができる総合病院となっています。当院の立地は、駅が近くになくバスの本数もあまり多くない場所で地域密着型として機能しています。そんな高齢化社会に対応すべく脳卒中、認

知症、神経難病、骨折による診療、リハビリテーションに力を入れています。当院の回復期は病床数が多く、セラピストの人数も多く在籍しています。経験年数は平均して若いですが、新人指導、臨床指導も行いつつ日々リハビリテーションに取り組んでいます。

これまでに私は一般病棟、外来、短時間通所リハビリテーション、慢性期脳卒中疾患に対するrTMS(反復経頭蓋磁気刺激法)などを経験してきました。上司の方が運動療法と物理療法の併用について研究をされており、一緒に携わっていくなかで興味を持つことができ学会発表など経験を積んできました。また、パーキンソン病疾患に対する運動療法であるLSVT@BIGの資格を取得するなど病院に微力ながらではありますが貢献できるよう努めてきました。現在は回復期病棟にて今まで学んできた物理療法を活用してもらえるように日々の臨床を実施しています。今では他のセラピストも運動器疾患、脳血管疾患患者に対して数種類の電気刺激装置を併用しつつ歩行訓練、筋力増強訓練を実施しています。それ以外にも超音波療法などの物理療法を活用し、より良いものを提供できるよう試行錯誤しながら臨床に励んでいます。

最近では、上肢、歩行訓練支援、電気刺激を行うリハビリロボットが活用されてきています。当院でも電気刺激装置を活用したり、上肢・下肢機能訓練装置の説明を受けレンタルするなど入院早期から最適なリハビリが提供できるように病院全体で取り組んでいます。今後も医療の発展とともに患者様により良いリハビリテーションを提供し、生活の質を向上できるよう日々精進していきたいと思っています。

また、病棟のリーダーとして臨床のみならず、業務管理も行い病院全体への貢献も考えつつ仕事に励んでいきたいと思っています。



令和 4 年度 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2-32	TEL 058-273-3007(代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16-12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶯 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210-3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒 502-0848 岐阜県岐阜市早田本町 1 丁目 9 番地	TEL 058-233-7981
株式会社 大塚製薬工場 〒 500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-20 濃飛ビル 9 階	TEL 058-227-3811
株式会社 gene 〒 461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1 丁目 26 番地 12 号 IKKO 新栄ビル 6F	TEL 052-325-6611
株式会社 Lee 製作室 〒 910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地 40-9	TEL 0776-50-1105
有限会社 であい工房 〒 738-0034 広島県廿日市市宮内 3300	TEL 0829-39-0041

編集後記

~~~~~

2022 年が早くも過ぎ去り新年を迎えました。光陰矢の如し、1 年が過ぎるのは本当にあっという間ですね。時間というのは相対的なもので、アインシュタインは「熱いストーブの上に手を置くと、1 分が 1 時間に感じられる。きれいな女性と座っていると 1 時間が 1 分に感じられる」と喩えたそうです。一方で脳は新しい刺激を前にすると、時間を長く感じるそうです。「子どもの頃は 1 年を長く感じていた」という、あの感覚ですね。

気が早いですが、2023 年の終わりに 1 年の長さをどのように感じているかと想像します。いずれにしても健康に過ごし、たくさんの刺激に触れられる、そんな 1 年にしたいものです。皆さまにとっても、幸多き一年となりますように。(K. I)

~~~~~

広告掲載のご案内

士会ニュース広告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒 502-0812 岐阜市八代 1-7-1

岩砂病院・岩砂マタニティ

TEL : 058-231-2631 FAX : 058-294-1480

E-mail : gptakouhou@gmail.com

~~~~~

2023. 2. 15

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 村 雲 憲

事務局：〒 500-8384 岐阜市藪田南 1 丁目 11 番 12 号

岐阜水産会館 4B-4 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編 集：矢代真也

印刷所：(有)いすくら

~~~~~